2020年度

理事会総会議案書

（書面開催）

（公財）日本電信電話ユーザ協会
市川・浦安行徳地区協会

■　理事会総会議案

第一号議案　　2019年度の事業報告について

第二号議案　　2019年度収支報告について

第三号議案　　2019年度会計監査報告について

第四号議案　　2020年度事業計画（案）について

第五号議案　　2020年度収支予算（案）について

第六号議案　　2020年度役員等について

第七号議案　　2021年度事業運営について

（注）本議案書に掲載しております「個人名・事業所名」につきましては、
“順不同・敬称略”とさせていただきます。

第一号議案

2019年度事業報告について（1/5）

会員数状況等について

【1】千葉支部会員状況の推移

地区協会名	2018年度	2019年度				会員数
		入会数	退会数	純増数	会員数	前年度比
千葉・市原・東金	403	3	40	▲37	366	▲9.2%
成田・佐倉	88	0	6	▲6	82	▲6.8%
茂原・夷隅	103	1	5	▲4	99	▲3.9%
市川・浦安行徳	160	2	15	▲13	147	▲8.1%
船橋・習志野・八千代・鎌ケ谷白井	201	3	21	▲18	183	▲9.0%
柏・流山・我孫子・沼南	119	0	8	▲8	111	▲6.7%
野田・関宿	66	1	4	▲3	63	▲4.5%
松戸	87	0	5	▲5	82	▲5.7%
木更津・館山・鴨川	243	0	17	▲17	226	▲7.0%
銚子・香取・旭・匝瑳	156	0	7	▲7	149	▲4.5%
合　計	1,626	10	128	▲118	1,508	▲7.3%

【2】参考

(1)首都圏支部の会員状況の推移

支部名	2018年度	2019年度	前年度増減	前年度比
千葉	1,626	1,508	▲118	▲7.3%
茨城	1,515	1,399	▲116	▲7.7%
東京	3,335	3,169	▲166	▲5.0%
群馬	2,339	2,213	▲126	▲5.4%
神奈川	1,516	1,394	▲122	▲8.0%
栃木	1,437	1,343	▲94	▲6.5%
埼玉	1,340	1,252	▲88	▲6.6%
山梨	1,146	1,099	▲47	▲4.1%
合　計	14,254	13,377	▲877	▲6.2%

(2)入会理由分析結果

入会理由	千葉	成田	茂原	市川	船橋	柏	野田	松戸	木更津	銚子	計	割合
セミナー研修会等への参加	2				2						4	40.0%
コンクール各種競技会への参加			1	1			1				3	30.0%
役員・役員等協会関係者	1			1							2	20.0%
他協会からの転入					1						1	10.0%
合　計	3		1	2	3		1				10	100%

(3)退会理由分析結果

退会理由	千葉	成田	茂原	市川	船橋	柏	野田	松戸	木更津	銚子	合計	割合
経費節減等の会社経営判断	19	3	2	5	7	5	1	1	7	6	56	43.8%
割引特典の利用中止	8	2	1	3	6	2	1	3	1		27	21.1%
会社又は事業所の統廃合・倒産等	6	1	2	4	4	1	2		5		25	19.5%
会費未納等による協会判断	3			2	2			1	2	1	11	8.6%
協会事業に魅力がない	2				1						3	2.3%
その他	2			1	1				2		6	4.7%
地区協会合計	40	6	5	15	21	8	4	5	17	7	128	100%

2019年度事業報告について（2/5）

ＩＣＴセミナー等の実施状況について

【1】新春講演会実施状況

事業項目	実施概要	参加者数（　）内は事業所数			2019年度の取り組み
		2018年度実績	2019年度実績	増減	
①支部 2月13（木）	実施会場：ﾎﾃﾙｸﾞﾘｰﾝﾀﾜｰ幕張 第一部　講師：AI inside㈱　執行役員CRO　梅田祥太朗氏 「働き方改革の実現に向けたAI-OCR導入のポイント」 第二部　講師：森末慎二(元体操競技選手) 「あくなき挑戦」	126 (65)	77 (31)	▲49 (▲34)	(1)支部開催分 ・PRの取り掛かり時期が遅れたため、集客が進まなかった。 ・対策としてテレコムフォーラムへのチラシ同梱、施設見学参加者へのチラシ配布に加え、新たに新聞折込チラシを実施したが、集客は伸び悩んだ。集客力の高い講師選定や商工会議所会報へのチラシ封入等を検討したい。 (2)地区開催分 参加者については、銚子地区は増、木更津地区は昨年度とほぼ同数であった。 (3)テレコムフォーラムへのチラシ同梱エリア ①千葉支部主催・・・・全ｴﾘｱ ②銚子地区（商工会議所主催へ協賛）・銚子ｴﾘｱのみ ③木更津地区主催・・・木更津ｴﾘｱ、千葉ｴﾘｱ
②銚子地区 1月14日(火)	実施会場：銚子商工会議所大ﾎｰﾙ ※銚子商工会議所主催 講師：澤口俊之氏(脳科学者) 「夢をかなえる脳」	144	150	6	
③木更津地区 1月29日(水)	実施会場：かずさアカデミアホール 第一部　講師：ＮＴＴ東日本ー南関東　木更津営業支店長　横山英夫氏 『AIを活用した文書読取サービスのご紹介』 第二部　講師：川相昌弘氏 （元巨人軍・野球解説者/評論家） 『バントの神様が語る～自分の役割～』 ・木更津商工会議所 ・君津商工会議所　　共催	70 (27)	67 (31)	▲3 (4)	
合　　計		340 (92)	294 (62)	▲46 (▲30)	―

【2】ＩＣＴセミナー実施状況

実施項目	実施概要	参加者数		2019年度の振返り
		2018年度実績	2019年度実績	
ＩＴ関連セミナー	(1)定期総会実施後に、各地域営業支店長からミニセミナーを実施 （テーマ：AI-OCR、RPA）	(1)ミニセミナー ・5月(48名)成田/銚子 ・6月(120名) 千葉/茂原/市川 ・7月(131名) 船橋/柏/野田/松戸/木更津 (計：10回299人参加) (2)IT導入補助金セミナー ・7/24　柏商工会議所 (13事業所14名参加)	(1)ミニセミナー ・6月(141名) 銚子/千葉/野田/成田//茂原 ・7月(128名) 木更津/船橋/市川/柏/松戸 (計：10回269名参加)	地区協会の定期総会開催時を捉えたミニセミナーについてNTT東日本からの協力で実施
協賛セミナー	・企業の生産性向上および付加価値の創出等の推進に関する千葉県の取り組みについて（千葉県商工労働部　産業振興課） ・業務におけるICTの利活用について（NTT東日本ﾊﾟｰﾄﾅｰ企業） ・時間と場所を超える仕事術 （㈱ｸﾞｯﾄﾞﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ総合研究所）	―	・2月21日 ホテルザ・マンハッタン （61事業所91名参加）	NTT主催のセミナーへの、ユーザ協会会員の集客協力

2019年度事業報告について（3/5）

テレコミュニケーション教育研修活動について

【1】電話応対コンクール（問題解説研修～千葉県大会まで）

研修名・大会名	実施月	区分	2018年度合計	2019年度 合計	千葉	成田	茂原	市川	船橋	柏	野田	松戸	木更津	銚子
問題解説研修	5月(4回)	参加者数	162	157	70	7	8	12	12	19	2	2	20	5
		事業所数	47	43	10	4	3	4	5	6	1	2	6	2
収録前	6月(6回) 7月(7回)	参加者数	138	125	53	8	9	6	10	23	2	2	7	5
		事業所数	79	51	18	5	4	2	5	6	1	2	6	2
地区大会	8月	参加者数	166	149	49	21	9	18	11	15	3	7	14	2
		事業所数	50	47	11	6	4	4	5	5	2	4	5	1
千葉県大会特別研修	9月	参加者数	49	51	17	3	3	6	4	7	3	3	3	2
		事業所数	38	29	6	3	3	3	3	2	2	3	3	1

【2】電話応対コンクール千葉県大会結果

2019年10月17日　於mBAY POINT幕張

＜千葉県大会入賞者一覧＞

入賞	出場者名	事業所名	地区協会名
優勝	村上　勉	キヤノンカスタマーサポート㈱	千葉・市原・東金
準優勝	中村　綾菜	㈱ＮＴＴ東日本-南関東 ﾃｸﾆｶﾙｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀ千葉ﾌﾛﾝﾄ	千葉・市原・東金
優秀賞	根本　綾子	アートコーポレーション㈱	柏・流山・我孫子・沼南
優秀賞	三浦　信男	キヤノンカスタマーサポート㈱	千葉・市原・東金
優秀賞	平井　泉	㈱ホテルオークラ東京ベイ	市川・浦安行徳
優秀賞	小﨑　明紀	キヤノンカスタマーサポート㈱	千葉・市原・東金
優秀賞	杉崎　瞳	キヤノンカスタマーサポート㈱	千葉・市原・東金
優秀賞	佐久間紀子	佐川急便㈱　浦安営業所	市川・浦安行徳
優秀賞	山田　哲也	ヤマト運輸㈱　船橋主管支店	船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井
優秀賞	村上遼太郎	東日本電信電話㈱　千葉事業部　京葉営業支店	船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井

【3】第58回電話応対ｺﾝｸｰﾙ全国大会結果

入賞	出場者名	事業所名	出場県
-	村上　勉	キヤノンカスタマーサポート株式会社	千葉

【4】電話応対技能検定取り組み状況

【もしもし検定1級～3級】

	2018年度受験者数	2019年度受験者数	増減
千葉	395	317	▲78
茨城	0	0	0
栃木	0	14	14
群馬	21	21	0
埼玉	0	0	0
神奈川	237	78	▲159
山梨	4	0	▲4
合計	657	430	▲227

【もしもし検定4級】

2018年度受験者数	2019年度受験者数	増減
607	308	▲299
45	22	▲23
97	16	▲81
63	33	▲30
99	124	25
266	109	▲157
17	15	▲2
1,194	627	▲567

(本部施策)企業電話応対コンテスト参加状況

	2018年度(ｴﾝﾄﾘｰ数)	2019年度(ｴﾝﾄﾘｰ数)	前年度比較
千葉	8	7	▲1
茨城	1	0	▲1
栃木	2	0	▲2
群馬	0	1	1
埼玉	12	14	2
神奈川	32	21	▲11
山梨	0	0	0
合計	55	43	▲12

これまで千葉県内実施機関に委託して実施してきたが、2020年度から1級～3級は関東事業推進部にて実施し、4級は千葉支部が再度実施機関の登録を行い実施していく予定。

2019年度事業報告について（4/5）

【5】ビジネスマナー等研修参加状況

区分	研修区分	実施概要	実施回数、参加者数（　）内は事業所数 2018年度実績	2019年度実績	増減	２０１９年度の振返り
継続	①フレッシュマン	新人社員向けセミナー	4回 118名 (65)	4回 114名 (43)	0回 ▲4名 (▲22)	例年,好評をいただいているため、2020年度も同4枠で実施予定。
継続	②ビジネスマナー	ｸﾚｰﾑ電話応対の心構え、ｸﾚｰﾑ応対の言葉使い、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ	14回 348名 (128)	9回 221名 (62)	▲5回 ▲127名 (▲66)	台風の影響や市役所研修との重複で、回数及び参加者数減となった。
継続	③クレーム電話応対	ｸﾚｰﾑ電話応対の心構え、ｸﾚｰﾑ応対の言葉使い、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ	10回 291名 (118)	5回 116名 (60)	▲5回 ▲175名 (▲58)	台風の影響で回数及び参加者数減。
継続	④ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ指導力強化	中堅社員,もしくは指導者ｽﾀｯﾌの能力と自発性を引き出すｺｰﾁﾝｸﾞ	2回 83名 (31)	3回 70名 (34)	1回 ▲13名 (3)	回数増も参加者数減だが、人数の適正化を図ったため。
継続	⑤ビジネスマナー ワンランク アップ	ﾏﾅｰﾙｰﾙの習得 美しいお辞儀、感じのより挨拶ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ	3回 79名 (28)	3回 73名 (42)	0回 ▲6名 (14)	参加者は例年安定しており、事業所数増。
継続	⑥職場を良くするｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	職場を居心地よくするためのビジネスコミュニケーションスキルの習得	1回 38名 (19)	2回 44名 (20)	1回 6名 (1)	2018年度より新規に開催したが、引き続き好評であった。
継続	⑦アンガーマネジメント	怒り、イライラを自らコントロールして快適な生活・仕事を行っていく	2回 57名 (25)	2回 50名 (28)	0回 ▲7名 (3)	参加者は例年安定している。内容についても好評いただいている。
新規	⑧レゴシリアスワークショップ	組織,チーム,個人のための思考、コミュニケーションの確立、問題解決のためのファシリテーションテクニック。	―	1回 22名 (12)	1回 22名 (12)	新規の施策で、内容についても好評いただいている。
合　計			36回 1014名 (414)	29回 710名 (301)	7回 ▲304名 (▲113)	アンケートの満足度：90%

【6】地区協会別研修参加状況

研修名称	区別	合計	千葉	成田	茂原	市川	船橋	柏	野田	松戸	木更津	銚子	非会員
フレッシュマン	参加者数	114	40	6	9	13	25	9	0	4	2	5	1
	事業所数	43	15	1	3	6	8	1	0	2	2	4	1
ビジネスマナー	参加者数	221	16	9	7	9	7	10	0	3	159	0	1
	事業所数	62	9	2	3	5	4	1	0	1	36	0	1
クレーム電話応対	参加者数	116	34	2	9	15	16	13	1	6	9	9	2
	事業所数	60	22	1	6	6	4	5	1	4	6	3	2
ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ指導力強化	参加者数	70	44	0	0	9	3	3	1	5	5	0	0
	事業所数	34	20	0	0	3	3	1	1	4	2	0	0
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ ﾜﾝﾗﾝｸｱｯﾌﾟ	参加者数	73	36	0	1	2	11	8	1	9	3	2	0
	事業所数	42	22	0	1	1	6	2	1	5	3	1	0
職場を良くするｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	参加者数	44	10	0	1	10	5	4	2	0	2	10	0
	事業所数	20	4	0	1	4	3	1	2	0	2	3	0
アンガーマネジメント	参加者数	50	17	0	2	10	6	7	0	1	1	6	0
	事業所数	28	11	0	2	5	4	3	0	1	1	1	0
ﾚｺﾞｼﾘｱｽﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	参加者数	22	13	0	0	0	1	1	0	3	4	0	0
	事業所数	12	7	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0
合計	参加者数	710	210	17	29	68	74	55	5	31	185	32	4
	事業所数	301	110	4	16	30	33	15	5	18	54	12	4

2019年度事業報告について（5/5）

情報通信施設見学会について

【1】実施状況（総括）

実施項目	実施概要	参加者数			2019年度の取り組み
		2018年度実績	2019年度実績	増減	
情報通信施設見学会	・第一見学場所（公益事業） NTT-ICC NTT歴史ｽｸｴｱ ・第二見学場所＜その他事業＞ 両国国技館 歌舞伎座 明治座 東京宝塚劇場	166	249	83	(1)運営方法の改善 ①参加者数に見合った事務局人員配置 ②イベント内容に見合った参加費の徴収 ③各地区バス１台として運行工程の工夫 (2)見学場所の多様化で大幅に参加者数が増

【2】地区別実施状況

地区協会名	実施月日	見学場所	2018年度参加者実績	2019年度参加者実績	増減
市川・浦安行徳	2019/11/22	2地区合同で開催 ・NTT歴史展示ｽｸｴｱ ・明治座	6	7	1
船橋・習志野・八千代・鎌ケ谷白井			9	12	3
銚子・香取・旭・匝瑳	2019/11/15	・NTT歴史展示ｽｸｴｱ ・明治座	47	41	▲6
木更津・館山・鴨川	2020/ 1/22	・NTTｲｰｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ ・両国国技館	30	41	11
千葉・市原・東金	2020/ 1/17 2020/ 1/24 2020/ 1/30	3地区合同で3回開催 ・NTT歴史展示ｽｸｴｱ ・NTTｲｰｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ ・両国国技館 ・歌舞伎座 ・東京宝塚劇場	53	89	36
成田・佐倉			5	11	6
茂原・夷隅			16	9	▲7
柏・流山・我孫子・沼南	2019/11/22	3地区合同で開催 ・NTT歴史展示ｽｸｴｱ ・明治座	-	19	19
松戸			-	16	16
野田・関宿			-	4	4
全地区合計			166	249	83

第二号議案

2019年度収支報告について

自　2019年4月　1日
～至　2020年3月31日

（単位：円）

【収入の部】

項目	①2019年度 予算額	②2019年度 決算額	②－① 差額	備考
会員受取会費	624,000	576,000	▲48,000	会員減
事業収入	30,000	22,982	▲7,018	
雑収入	5	5	0	利息
小計	654,005	598,987	▲55,018	
前年度繰越金	556,767	556,767	0	
A．収入合計	1,210,772	1,155,754	▲55,018	

【支出の部】

区分	項目	①2019年度 予算額	②2019年度 決算額	②－① 差額	備考
事業費	電話応対競技会費	92,000	76,284	▲15,716	参加減
	セミナー費	100,000	3,000	▲97,000	前年度並み
	施設見学会費	100,000	90,998	▲9,002	
	組織強化費	0	0	0	
	B．小　計	292,000	170,282	▲121,718	
管理費	会　議　費	140,000	120,632	▲19,368	理事会費用減
	諸　経　費	28,000	24,997	▲3,003	
	C．小　計	168,000	145,629	▲22,371	
D．表彰費		30,000	0	▲30,000	
内部取引	運営資金支出費	145,259	141,421	▲3,838	上部費
	消費税分担費	24,343	24,664	321	上部費
	E．小　計	169,602	166,085	▲3,517	
F費用合計=B＋C＋D+E		659,602	481,996	▲177,606	
G繰越資産=A-F		551,170	673,758	122,588	

第三号議案

2019年度会計監査報告について

会計監査報告書

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会市川・浦安行徳地区協会会則第１２条４項に基づき、２０１９年度（2019年4月１日～2020年３月３１日）の公益財団法人日本電信電話ユーザ協会市川・浦安行徳地区協会の財務状況について、出納簿・証拠書類・預金通帳・現金等を照合した結果、適正且つ正確であることを認めました。

また、業務についても適正に執行されていると認めましたので、本書をもってご報告いたします。

以上

2020年 7 月 6 日

市川・浦安行徳地区協会監事　中村 政邦　印

（市川企業懇話会 代表）

2020年 7 月 2 日

市川・浦安行徳地区協会監事　藤田 仁　印

（ブリーズベイホテル株式会社市川グランドホテル　営業推進部長）

第四号議案

2020年度事業計画（案）について（1/3）

◆取組の基本方針

■「ICT活用推進事業」については、最新テクノロジーの活用事例を紹介する集合セミナーの開催。ｅラーニングメニューの充実を図る。

■「テレコミュニケーション教育事業」については、電話応対コンクール、各種研修、電話応対技能検定の３事業を柱に展開する。

	具体的な取り組み
1、 ＩＣＴ活用促進事業	■最新テクノロジーの活用事例を紹介するセミナーの開催 (1)中小企業経営者層を対象とした、ＩＣＴを活用した商売繁盛・生産性向上並びに商工会議所が推進する「キャッシュレス決済」、「モバイルＰＯＳ」等をテーマにしたセミナーを実施する。 ◇カテゴリ：①商売繁盛　②生産性向上　③情報セキュリティ ①商売繁盛・・・・・・ビジネスモールを使った販路拡大、5Gの展開 ②生産性向上・・・・・働き方改革の実現に向けた「AI-OCR」、「RPA」といったツール導入のポイント ③情報セキュリティ・・サイバー犯罪を取り巻く現状の攻撃状況と対策 (2)eラーニングコンテンツのラインナップ拡充 ①2019年度のＩＣＴ/テレコミュニケーション分野を中心にした6タイトル（「情報セキュリティ」「ビジネススキル」「ビジネスマインド」「ビジネスマナー」「コンプライアンス」「ICT活用促進」）から、2020年度は「9タイトル」と更に拡充してスタートし、機会を捉え会員様へのPRを強化する。 ②2020年度9タイトルは次のとおり。 ：<継続4タイトル> 「情報セキュリティ」「ビジネススキル」「ビジネスマインド」「ビジネスマナー」 ：<新規5タイトル> 「RPAによる生産性向上」「キャリアデザイン」「ケースで考える仕事の基本」「ハラスメント」「WEB集客入門」 ■ＩＣＴミニセミナーの実施 ONTT東日本様、ドコモCS様と連携し、総会他あらゆる機会を捉えたＩＣＴミニセミナーを実施する。 ■新春講演会の開催：目標340名集客 (1)テーマ、1部：ＩＣＴ系、2部：著名人による講演にて構成 (2)集客の図れるテーマ・講師（著名人）の選定を検討する (3)実施地区は、支部・木更津・銚子とする。 (4)企画・運営については、委託化を検討する。

2020年度事業計画（案）について（2/3）

	具体的な取り組み
2、 テレコミュニケーション教育事業	■電話応対コンクール 〇電話応対コンクール参加事業所拡大：目標50事業所166名 ・過去に参加しているが、近年参加していない企業へ継続勧奨。 ・電話応対コンクール参加目標については、前年度の参加事業所数を維持しつつ、拡大努力を図る。 （2018年度実績 50事業所 166名 ⇒ 2019年度実績 47事業所 149名） ■各種研修の充実 〇フレッシュマン研修、各種ビジネスマナー研修参加者の希望等（ロープレや電話応対、グループ学習を多くして欲しい、等）を反映させ、更なる充実を図る。 ＊新型コロナウイルスの状況により、ＷＥＢ研修を導入 ■電話技能検定（もし検）の取組み 〇千葉支部が、2020年度から検定実施機関に復帰し、直接検定を行う。**[新規施策]** ・受験者拡大に向けて、iファクスや会報誌での会員様周知を行う。
3、 会員満足度の向上	■無料施策の提供 〇標的型攻撃メール訓練サービスやeラーニングサービス、テレワーク導入支援の無料施策のPRを実施する。 ■会員拡大：目標会員数は対前年度比▲7%⇒▲4%に歯止め ⑴役員様、商工会議所様、商工会様、NTT様等との連携強化により、新規会員獲得を図っていく。特に、CHISA（公益社団法人千葉県情報サービス産業協会）様等の外部団体との相互協力により、会員拡大を図っていく。**[新規施策]** ⑵総会・電話応対コンクール等あらゆる機会を捉えて、参加者に対し新規会員のご紹介を依頼していく。 ■利活用促進のため最新情報発信 ⑴毎月発行する「テレコムフォーラム誌」への資料同梱発送の継続実施 ・研修やイベントの参加募集案内、新規特典含めた会員特典の紹介、協会事業の紹介。 ⑵千葉支部ＨＰ、メルマガ等を活用して、研修やイベント開催案内を掲載し、タイムリーな情報発信を継続実施する。
4、 協会内の見直し	**[新規施策]** 各種見直しで効率化・平準化を図る。（検討） ■地区協会体制等見直し ⑴千葉地区管内の10地区協会を東西２地区協会に統合。 ⑵地区協会で区々な会費（4,000～6,000円）を5,000円に統一。 ■各種取組みの見直し ⑴新春講演会の委託化推進。 ⑵情報通信施設見学会の見直し。 ※ 2021年度での実施を目指すため、2020年度の支部理事会及び各地区協会理事会総会へ付議する。

2020年度事業計画（案）について（3/3）

NO	施策名	主催区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ＩＣＴセミナー・新春講演会	支部・地区										下旬 銚子	上旬 木更津支部	
2	理事会・総会	支部・地区			10支部 (電話会議)	●各地区 書面開催								
3	テレコミュニケーション研修	支部		●ﾌﾚｯｼｭﾏﾝ(幕張) 19・22 中止	●ﾌﾚｯｼｭﾏﾝ(幕張) 3中止 12WEB研修	●ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ ●ﾜﾝﾗﾝｸｱｯﾌﾟ ●ｸﾚｰﾑ電話応対 ●ﾘｰﾀﾞｼｯﾌﾟ ●ｱﾝｶﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ●職場を良くするｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ								
						新型コロナウイルスの状況を見ながら検討								
		地区												
4	電話応対ｺﾝｸｰﾙ(研修・ｺﾝｸｰﾙ)	支部・地区			●事前勉強会(問題解説研修) ・6/8～7/31 （WEB研修） ●事前勉強会(収録直前研修) 電話個別指導	●事前勉強会(収録直前研修) 電話個別指導	●応対収録 ●地区審査会 発表	●千葉県大会前勉強会	●千葉県大会 ●関東ブロック研修 下旬	●全国大会 ・20広島 (広島文化交流会館)				
						新型コロナウイルスの状況を見ながら検討								
5	情報施設見学会	地区								●銚子地区 下旬	●木更津 中旬 ●京葉2地区＆東葛３地区合同検討 上旬～下旬		●千葉	
									新型コロナウイルスの状況を見ながら検討					

2020年度電話応対コンクール予定について

■　千葉県大会

新型コロナウイルスの状況を見ながら検討

1、開催日

2020年１０月15日（木）

2、開催場所

mBAY POINT幕張　⇒　収録による審査や無観客等も検討

3、スケジュール

開会式　　９：30～　　競技　　１０:１０～
表彰式　　17：00～　　懇親会　１８:３０～

4、後　援

千葉県
株式会社千葉日報社
一般社団法人千葉県商工会議所連合会
千葉県商工会連合会
東日本電信電話株式会社千葉事業部

5、表　彰

・優勝　（1名）・準優勝　（1名）・優秀賞　（8名）　計10名

■　全国大会

新型コロナウイルスの状況を見ながら検討

1、開催日

2020年１１月20日（金）

2、開催場所

広島文化交流会館（広島）

3、スケジュール

開会式　　９：30～　競　技　１０:１０～
表彰式　　17：00～　懇親会　１８:３０～

4、後　援

総務省　日本商工会議所、全国商工会連合会
一般社団法人電気通信事業者協会
一般社団法人日本コールセンター協会
公益財団法人企業情報化協会
東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社
株式会社ＮＴＴドコモ
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

第五号議案

2020年度収支予算（案）について

自　2020年4月　1日
至　2021年3月31日
（単位：円）

【収入の部】

項目	①2019年度 決算額	②2020年度 予算額	②－① 差額	備考
会員受取会費	576,000	553,000	▲23,000	4%減に歯止め
事業収入	22,982	23,000	18	
雑収入	5	5	0	
小計	598,987	495,003	▲103,984	
前年度繰越金	556,767	673,758	116,991	
A．収入合計	1,155,754	1,168,761	13,007	

【支出の部】

区分	項目	①2019年度 決算額	②2020年度 予算額	②－① 差額	備考
事業費	電話応対競技会費	76,284	76,000	▲284	
	セミナー費	3,000	3,000	0	
	施設見学会費	90,998	90,000	▲998	
	組織強化費	0	0	0	
	B．小　計	170,282	169,000	▲1,282	
管理費	会　議　費	120,632	120,000	▲632	
	諸　経　費	24,997	25,000	3	
	C．小　計	145,629	145,000	▲629	
D．表彰費		0	30,000	30,000	
内部取引	運営資金支出費	141,421	140,000	▲1,421	上部費
	消費税分担費	24,664	25,000	336	上部費
	E．小　計	166,085	165,000	▲1,085	
F費用合計=B＋C＋D+E		481,996	509,000	27,004	
G繰越資産=A－F		673,758	659,761	▲13,997	

第六号議案

2020年度地区役員等について

役員等改選（案）について（2020年度～2021年度）

会職	氏　名	事　業　所　名	役　職
会　長	片岡　直公	市川商工会議所	会頭
副会長	髙木　行雄	浦安商工会議所	専務理事
副会長	米山　芳昭	株式会社米山鉄工所	代表取締役社長
理　事	酒井　正平	東京ベイ信用金庫	理事長
理　事	羽生　　弘	京葉瓦斯株式会社	取締役社長
理　事	齊藤　義弘	株式会社スズキ技研	管理部長
理　事	今井　秀樹	株式会社オリエンタルランド	IT戦略推進部長
理　事	湯浅　健弘	ユトー株式会社	代表取締役社長
監　事	中村　政邦	市川企業懇話会	代表
監　事	藤田　仁	ブリーズベイホテル株式会社 市川グランドホテル	営業推進部長
顧　問＊	高澤　智秀	東日本電信電話株式会社 千葉西支店	京葉営業支店長

注）＊は人事異動等によりご就任（該当無し）
委嘱状の発行は省略とし、希望がある場合適宜発行とします。

第七号議案

2021年度事業運営について

会員サービスの維持向上に向けた取り組み

取り組みの考え方

ユーザ協会事業について、これまで地区協会毎に区々であった事業を千葉県内で統一化することで、地区を跨る事業への参加を可能とするとともに、会員サービスレベルの均質化と、維持向上を図ることとしたい。

実施にあたっては、間接稼働を極力抑えることで、事業活動に向けた稼働を創出することと、財務基盤の強化に向けて、**「現行の１支部１０地区協会から１支部２地区協会**の業務運営体制」に見直すことを柱に、業務の効率化検討を開始することとしたい。

◆取り巻く事業環境の変化等

1.会員数の減少
会員数はここ4年で▲465（▲23.6%）

H27 年度末 (2015)	H28 年度末 (2016)	H29 年度末 (2017)	H30 年度末 (2018)	R01 年度末 (2019)
1,973名	1,857名 (▲116)	1,734名 (▲123)	1,626名 (▲108)	1,508名 (▲118)

2.会員ニーズの多様化
協会事業への参加者人数の減少

行事	電コン マナー研修等	講演会	施設見学会
H29年度 (2017)	1,047名 509事業所	327名	297名
H30年度 (2018)	1,363名 578事業所	340名	166名
R01年度 (2019)	859名 348事業所	294名	249名
減少率	▲18.0%	▲10.1%	▲16.2%

◆会員サービスの維持向上に向けて

1.会員サービスの維持向上
地区協会毎に区々であった事業・行事を統一化することにより、会員サービスレベルの均質化と維持向上を図る。

2.地区協会の体制強化
統合により1地区の規模を拡大することにより、協会事業の効率的・効果的展開を可能とする。

3.効率的・効果的運営基盤の確立
各地区で実施していた定型・反復業務を統合・標準化することにより、間接稼働等の効率化を図り、実務稼働へのシフトを推進、会員サービスの向上により注力できる体制を確立する。

◆地区協会の統合(案)

経済圏、地区協会間の数のバランスや組織マネジメント等を総合的に勘案し、現行の10地区協会体制から、2地区協会体制への見直しを図る。

現行：10地区
千葉・市原・東金（366）
成田・佐倉（82）
茂原・夷隅（99）
木更津・館山・鴨川（226）
銚子・香取・旭・匝瑳（149）
船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井（183）
市川・浦安行徳（147）
柏・流山・我孫子・沼南（111）
野田・関宿（63）
松戸（82）

新体制：2地区
千葉東（922） （千葉・市原・東金 成田・佐倉 茂原・夷隅 木更津・館山・鴨川 銚子・香取・旭・匝瑳）
千葉西（586） （船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井 市川・浦安行徳 柏・流山・我孫子・沼南 野田・関宿 松戸）

※（　）内は会員数

2021年度事業運営について

◆地区協会統合に伴う見直し内容

2地区協会体制への統合に伴う見直し内容は、①組織運営体制等の統一化（役員数など）、②事業･行事の省力化、③業務の効率化とし、会則変更を行う。具体的には以下のとおり。

見直し方針		具体的な見直し内容（案）
①組織運営体制等の統一化	役員	新地区体制に応じた役員数に見直す。 なお、現地区の会長・副会長については、原則、全員新地区役員に留任をお願いしたい。理事・監事は退任とする。
	会費等	現行年会費「４～6,000円」を、統合後は「5,000円」に統一。 ※一部行事（研修等）の会員参加費の見直しを検討し財務基盤強化を図る。
②事業・行事の省力化	継続事業	統合後も事業は基本的に継続実施するが、委託化や商工会議所等が主催するセミナー協賛に切り替える等で省力化を進める。。
	見直し事業	施設見学会は地区合同開催を推進し、2021年度からは廃止等の見直しを図る。
③業務の効率化	行事運営・様式の効率化	理事会・総会の総会一本化による稼働削減を図る。

◆スケジュール（案）

年月		2020年度				2021年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
スケジュール	統合に向けた動き	支部役員説明 理事会・総会に付議 方向性決定	調整			新体制発足 決定事項の送付（全会員様宛）
	総会・理事会等	支部理事会 各地区協会理事会総会				旧地区協会解散総会 新地区協会設立総会 支部理事会

■　地区理事会総会議事録

日時　2020年７月上旬～７月下旬（議案書等送付時期）

場所　書面開催のため各事業所等

内容　以下の通り、全て承認

第一号議案　　2019年度の事業報告について：承認

第二号議案　　2019年度収支報告について：承認

第三号議案　　2019年度会計監査報告について：承認

第四号議案　　2020年度事業計画について：承認

第五号議案　　2020年度収支予算について：承認

第六号議案　　2020年度役員等について：承認

第七号議案　　2021年度事業運営について：承認

その他の連絡事項

来年度の理事会総会も書面開催となる場合があり、その場合ＨＰで告知します。

来年度の決定事項の送付はＨＰでの掲示となる場合があります。

【参考】表決書内訳

地区協会名	送付数	表決内容			
		賛成数	反対数	諾否	備考
千葉・市原・東金	363	363	0	承認	ー
成田・佐倉	80	80	0	承認	ー
茂原・夷隅	96	96	0	承認	ー
市川・浦安行徳	145	145	0	承認	ー
船橋・習志野・八千代・鎌ケ谷白井	182	182	0	承認	ー
柏・流山・我孫子・沼南	108	108	0	承認	ー
野田・関宿	61	61	0	承認	ー
松戸	81	81	0	承認	ー
木更津・館山・鴨川	223	222	1	承認	反対１票は第三号議案～第七号議案のみ反対
銚子・香取・旭・匝瑳	143	143	0	承認	ー
合　計	1,482	1,481	1	ー	ー